

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
電話 096-354-1150

発行所 加来尚貴
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

- 2月7日 共済理事会(WEB)
- 2月21日 組織化対策会議(WEB)
- 第5回役員推薦委員会
- 2月23日 青女常任委員会
- 2月24日 青女春闘学習交流学習会(25日)
- 2月28日 全国組財・全国書記長会議
- 3月1日 森林労連全国代表者会議

変化していく情勢 今後に向け意思統一

～2025.1.17 分会代表者会議～

冒頭、加藤地本委員長は、「口頭より分会段階での取り組みに対して感謝申し上げる。政治情勢については、これまでの1強多弱の体制から変化してきており、今後も注視していく必要がある。今年の夏は参議院選挙が行われるが、次期衆議院選挙に繋げるためにも重要な選挙となる。各分会においても推薦決定に向けた取り組みを引き続きお願いしたい。また、春闘においては10年ほど前から官制春闘という言われ方もされている。基本は労使交渉による賃上げであり、今後も全世代での賃上げに向けて人事院交渉等を継続していく。国有林野事業を取り巻く各種課題についても引き続き取り組んでいくため、分会段階での取り組みも強化してもらいたい」とあいさつ。



取組の強化に向けたあいさつをする加藤委員長

引き続き、古村地本書記長から、当面する課題と今後の取組として、①取り巻く情勢、②連合公務労協等の取組について、



分会から多くの意見が出される

冒頭、加藤委員長から「様々な課題が山積している。課題については、一気に解決することは難しいが、これまで築いてき



各種課題の改善に向け交渉に入る

「今年度予算と比較した来年度予算の状況」「業務量増加による業務過重の軽減」「林道予算の適切な確保」「将来要員規模

た信頼関係を継続しながら前に進めていきたい」と挨拶し、交渉に入りました。

交渉事項として

- 2025年度事業運営について
- 要員及び現場管理機能の確保について
- 労働安全の確保について
- その他

について交渉を行いました。

具体的な内容として、

- 2025年度業務運営などについては、次年度予算の配賦額が年度末に向けて明らかになってくるが、引き続き事業が円滑に進められるよう、効率的に職員の負担軽減を図りながら実行していきたい。
- 要員及び現場管理機能の確保については、非常に厳しい状況だと認識している。関係局や本庁に対し対応を行い、新規採用者や短時間再任用、非常勤職員の確保に努めていきたい。期間業務職員の雇用についても要望調査を行ってきたところであり、必要な予算の確保に努めていきたい。
- 労働安全の確保については、人命が第一なのは変わらない。これまで周知してきたが、今後も3号通達に基づき、当局のリーダーシップを発揮しながらこれ以上災害を発生させないという強い意識の下に取り組む。心の健康づくり対策においても、管理監督者の目配り、気配りにより、早期発見のための相談できる環境づくりを進め、各署等に指導していきたい。
- 手当関係としては、赴任旅費移転料、山上等作業手当、再任用職員の手当等については、法律、規則等により定められており、林野庁単独での解決は難しいが、上部へ伝えたい。など」と回答しました。

交渉の中で当局からは、キャラバン等で現場に向き、直接現場実態を把握するなどのコミュニケーションを図るなどの取り組みも検討していきたいとされています。今後も目配り気配りを行い、リーダーシップを発揮しながら課題の改善に取り組み、各種課題について継続協議していく事を確認し、交渉を終了しました。

2025年度事業予定の円滑な運営や各種課題の改善を 2024・12・23(地本団体交渉)

質疑討論では、「旅費について今後変更となっていくが、混乱が生じないように早期に対応するよう取り組んでもらいたい」「級の切り下げにより、級に見合わない若手職員が業務対応している」「要員が不足している中で、業務量も増加しており、請負事業者の数も減少しているなど、無理が生じてきている」「選考採用者には研修がなく、職員同士で何とか業務を継承している状況を改善してもらいたい」などについて、多くの意見が出されました。また、組織態勢強化についても意見が出

され、組織対策強化月間の取り組み等について、今後、検討していく課題であることを全体で確認していただきました。

最後に、提起された課題を全体で取り組んでいく事を確認して、全日程を終了しました。

匠の腕シゴト

「完成近づく！ 山之口運動公園」
(撮影者 中越隆太郎：都城分会)

「匠の一言」
令和9年に宮崎県で開催される国スポ☆障スポの総合開閉式や陸上競技のメイン会場の完成が近づいています。
本公園は、地域の防災力を高め、スポーツ振興の拠点となるよう県と共同整備を進めてきたものです。

匠の腕シゴト

「完成近づく！ 山之口運動公園」
(撮影者 中越隆太郎：都城分会)

「匠の一言」
令和9年に宮崎県で開催される国スポ☆障スポの総合開閉式や陸上競技のメイン会場の完成が近づいています。
本公園は、地域の防災力を高め、スポーツ振興の拠点となるよう県と共同整備を進めてきたものです。

匠の腕シゴト

「完成近づく！ 山之口運動公園」
(撮影者 中越隆太郎：都城分会)

「匠の一言」
令和9年に宮崎県で開催される国スポ☆障スポの総合開閉式や陸上競技のメイン会場の完成が近づいています。
本公園は、地域の防災力を高め、スポーツ振興の拠点となるよう県と共同整備を進めてきたものです。

課題の解消と労働条件改善に向けて 継続した取組を確認 事業体による局長会見、局交渉実施 〜2024年度九州森林労連単産交流学習会〜



今年も各地から集結

学習会開催にあたり、冒頭、あいさつに立った加藤九州森林労連執行委員長は、「近年では、2050年カーボンニュートラルへの貢献として、林業全体に関心が高まってきており、追い風も吹いている。」

今回の学習会については、今後の方向性を確認できる会議になると認識している。良好な事業体の育成と林業労働者の明るい未来、これらの実現に向けて取り巻く状況も変わってきており、非常にハードルが高くなっている部分がある中で、状況把握とそれに対してどう対策していくかなど、林業に携わる人たちに幸せにしていく写真を描きつつ、私たちが行動を起こしていかなければ、その幸せの実現は、自ら遠ざけていくものと思っている。民林労組としてできる運動を一緒になって取り組んでいきたい。引き続き、森林労連として様々な運動を取

2024年12月9日、熊本市の九州森林労連会館において、2024年度九州地方森林労連単産交流学習会が行われ、直加盟民林労組代表4名とそれぞれの労組の会社代表3名（1名の会社代表者は欠席）、林野労組からは執行部6名が参加した。

この取組は毎年行われており、会社代表者も合同で、森林労連の組合員と学習を行ったのちに、会社代表者は局長会見を、民林労組代表者は森林整備部長をはじめとした事業担当部への交渉を行っている。

その後、事業体経営代表者は、橋局長との会見、民林労組代表者は、局関係部との局交渉に入りました。

橋局長との会見は事業体と局署との情報共有など多岐に亘り、有意義な意見交換が実施されました。

局交渉では、①下刈作業の早期発注と作業期間の拡大、コンテナ苗の作業効率の改善と安定的な苗木供給、立木販売箇所の枝葉整理、造林事業の作業効率化と従事者の負担軽減、下刈作業と他事業の一括発注、②生産事業の路網作設における現場実態に応じた積算への反映、C材の請負単価の改善、③誘導伐の機械地帯導入における工期調査の結果とスケジュール感、伐区設定のあり方、④林道の維持修繕における予算確保と荒廃箇所の舗装改良の検討、⑤各種事



民林労組代表者と交渉を進める



松木森林整備部長に要求書を手交する戸髭宮崎地区林業労組委員長(右)

業における季節に応じた発注、⑥入札申請事務の簡素化、地元事業体に配慮した入札制度、⑦労働安全対策の強化及び管内事業体を対象とした安全対策会議の実施、今年度請負事業等の災害発生を踏まえた更なる安全対策の徹底、⑧計画的・安定的な事業量の確保と発注、雇用安定に繋がる対策、⑨各種現地検討会、講習会の開催など、多くの課題等について交渉が行われ、当局側から各項目に対して真摯な回答を受けました。

最後の総括では、事業体経営者・労組代表者双方の会見・交渉の報告を行い、今後取り組むべき課題などを再確認し、全日程を終了しました。

交流会で結束強化

「屋久島分会」

組合員の親睦を深めるため、10月5日、バーベキュー大会を開きました。

来賓として、管理者、非組合員、非常勤職員を招き、家族を含めて総勢37名が集まりました。普段交流が少ない仲間と食事を共にすることで親睦を深めることができました！

乾杯後、ほどなくして雨が降り始め、結構な雨の中でのバーベキュー大会となりました。

今後も組合員、非組合員関係なく屋久島は、仲良く親睦を深めていきたいと思えます。

皆さま、あいにくの天候の中、ご参加いただきましてありがとうございます。ありがとうございました。



全体で交流し、今後の屋久島をより良いものに

「森林・林業基本計画」の推進に係る要請行動を実施



左から鎌田県議、林活議連池田会長、後藤委員長、内海書記長

を実施しました。

森林労連からは、後藤執行委員長と内海書記長が参加しました。

要請内容は、

①「森林・林業基本計画」に掲げる施策の具現化を図るために必要な予算の確保

②「森林環境税」について税の趣旨に基づく

③森林経営管理制

④森林整備の促進のための予算確保

⑤森林資源の循環利用の確立

⑥地域材の安定供給体制の確立

「局分会」後藤通信員

熊本県地域森林労連では11月29日、熊本県林業活性化議員連盟 池田和貴会長（自民党熊本県議会議員）へ「森林・林業基本計画」の推進に係る要請行動

池田会長から、「住宅着工数が減少する中で、国産材が使われる比率は上がってきているがもともとのボリュームが少なくなってきており、供給が増えず価格が下がってしまうので、需給調整をお願いしたい。」との要望や、「熊本県は、技能

あの人とあの人

「福岡のうちなんちゅ？」

山口 強さん（福岡分会）

今回ご紹介する人物は福岡署のティータ山口強（ヤマダチツヨシ）さんです。

山口さんと初めて会ったのは令和4年度の4月の初め、最初顔を見た時「え、うちなんちゅ？」と思うほど顔が濃くて、沖縄出身の私には令和4、5年度は資源活用として、生産、販売の仕事バリバリにこなすエリート山口さんも、6年度からは土木担当として、新たな環境で切磋琢磨仕事に励んでおります。

令和4、5年度は資源活用として、生産、販売の仕事バリバリにこなすエリート山口さんも、6年度からは土木担当として、新たな環境で切磋琢磨仕事に励んでおります。

テニション上がりましたが、出身は熊本県らしく、おそろしく、前の職場が屋久島署であったことも顔が濃い一つの原因かと思われのではありませんか。（知らんけど）

そんな山口さんですが、気づかない、思いやりができる男で、だれとでも仲が良く、山口さんが空間にいるだけで気まずい雰囲気はなくなり、コミュニケーションも円滑に進みます。（すごい！）

福岡署にいられた際はぜひ山口さんに会いに来てくださーい！山口さんは最近カワイイ原付（黄色のカブ）も納車したので、バイク好き、ツーリング好きな方はぜひ福岡署に遊びに来てね！

（福岡分会）津波通信員

九州ろうきん Presents 九州七県 Uジョトキャンペーン

2025年1月15日(水)～3月31日(月)

抽選で100名様に当たる!!

- 1等 10万円現金
- 2等 5万円現金
- 3等 1万円現金

キャンペーン期間中に九州ろうきん営業所で取り締り期間中に九州ろうきん営業所で住宅ローン(有担保)の借付額30万円以上、お申し込みいただいた個人のお客さま(お申し込みは2025年3月31日までに)

住宅ローン 見直しアクション!

2024年12月20日(金)～2025年3月31日(月)

STEP1 借入期間でお客さまの住宅ローン(有担保)の借付額30万円以上、お申し込みいただいた個人のお客さま(お申し込みは2025年3月31日までに)

STEP2 九州ろうきん住宅ローン(有担保)で借付額30万円以上、お申し込みいただいた個人のお客さま(お申し込みは2025年3月31日までに)

対象者全員に、QUOカード1,000円分 プレゼント!!

詳しくはお近くのろうきんまで

記事を募集しています!!

分会で開催した様々なイベントや会議、地域の集會等の記事を募集していますので、教宣担当のメールアドレスへ投稿をお願いします。

E-mail sinrin14-kaku@siren.ocn.ne.jp (教宣担当)